

報告事項ツ

平成24年度鳥取県社会教育振興大会の結果について

平成24年度鳥取県社会教育振興大会の結果について、別紙のとおり報告します。

平成24年11月20日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

# 平成24年度鳥取県社会教育振興大会の結果について

家庭・地域教育課

## 1 概要

### (1) 趣 旨

全県の社会教育委員をはじめ、社会教育関係者が一堂に会し、地域づくりや人づくりに向けた生涯学習・社会教育活動の今後のあり方について考え、本県における社会教育の充実に資することを目的として開催。

(2) 日 時 平成24年10月24日(水) 10:00～16:10

(3) 会 場 倉吉未来中心

(4) 主 催 鳥取県社会教育協議会

(5) 共 催 鳥取県社会教育委員連絡協議会、鳥取県公民館連合会

(6) 後 援 鳥取県教育委員会

(7) 参加者 社会教育関係者等 167名(社会教育委員41名、公民館関係者60名、地教委職員43名、県教委職員13名、その他10名)

### (8) 内 容

【講演】「社会教育における家庭教育支援のあり方」

講 師 九州女子大学共通教育機構 准教授 大島 まな 氏

【市町村実践発表】市町村の取組を実践発表と資料掲示に分かれて行う。実践発表を行う市町村が分科会の協議題を設定し、取組を発表。(別紙参照)

## 2 大会の成果

- ・講演では、現在の社会背景から子どもの「生きる力」が低下したこと、家庭・地域の教育力の再生の必要性、社会教育の中での親への支援・子どもの発達支援等、具体的な家庭教育の支援について学び、各市町村の今後の取組の参考となった。
- ・実践発表では、市町村が特色ある取組について発表と資料掲示に分かれて行い、お互いに学びあうことができた。
- ・閉会行事で、大会宣言を採択し、各地域そして県全体の社会教育の機運を高め、一層の充実に図るための取組の方向性について共通認識を図ることができた。(大会宣言参照)



<講演>



<実践発表>

平成24年度鳥取県社会教育振興大会【実践発表プログラム】

	<p>【第1会場】小ホール 【鳥取市】つくろう みんなで元氣な西郷 【発表者】坂本 淨(西郷地区公民館長) 【発表概要】住民主体の「いなば西郷むらづくり協議会」が発足して約3年、よりよい地域づくりへの機運が高まってきた。地区公民館は協議会の運営、事業の工夫改善、地域の連帯意識の向上に努め、住民の期待に応えていきたい。</p>	<p>【第2会場】セミナールーム3A 【三朝町】地域住民の声を社会教育行政に～ 【発表者】横木 永子(三朝町社会教育委員会委員長) 【発表概要】教育委員長から「時代の変化に対応したわが町の社会教育の推進方策について」諮問を受け、答申に至るまでの経過と、答申を踏まえ、その後事業化へと取り付けた経緯を発表します。</p>	<p>【第3会場】セミナールーム3B 【南部町】「地域の活性化と住民参画の仕掛けについて」～古事記編纂1300年を体験しよう～ 【発表者】福田範史(人権・社会教育課専門員)谷本麻衣子(公民館・社会教育室主任) 【発表概要】古事記編纂1300年を契機に、行政が地元と協働する仕掛けをつくり、町民が公民館行事や関連イベントへの参加を通じて、古事記神話と南部町の関わりに関心を持ち、ふるさと南部町の愛着と誇りのづくりを推進する。</p>	
12:45 ～ 13:25	<p>【協議題】住民の参画と協働による魅力のある地域づくり 【江府町】「奥大山ひなまつりコレクション2012」 【発表者】手島 征夫(江府町文化協会長) 【発表概要】江府町文化協会が主体として商工会他5団体と実行委員会を立ち上げ、月曜れの4月8日より開催している。町民皆が楽しむこと、四季折々の行事を残すこと、町の賑わいのきっかけづくりを目的に実施しました。</p>	<p>【協議題】地域住民の声の収集について 【湯梨浜町】トリンドルさんにまげんでー きてごしなれ 【発表者】前田 まゆみ(舎人地区公民館) 【発表概要】(公民館運営の工夫) ・ユニークな題目について ・地域の特徴 ・人集めのポイント ・講師をお願いする秘訣 ・どこからアイデアが生まれるか ・今後は?</p>	<p>【協議題】地域の拠点となる公民館のあり方について 【米子市】「子ども・大人の居場所を次世代につなぐ」～地域のカ～ 【発表者】木下 光子(崎津地区こどもふれあい活動実行委員会副会長) 貫近孝子(ボランティア) 【発表概要】平成16年度～18年度まで文科省の支援を受けた「子ども居場所推進事業」が実施されましたが、平成19年度以降も当地域では同事業を自力で継続しております。その経緯、事業内容、成果、課題等について発表いたします。</p>	
13:35 ～ 14:15	<p>【協議題】住民と一緒に参加できる工夫 【船上山少年自然の家・大山青年の家】 「大山・船上山チャレンジ教室」 ～子ども達に長期自然体験活動の場を～ 【発表者】藤井 仁志(船上山少年自然の家 所長) 【発表概要】10年ぶりに船上山少年自然の家と大山青年の家のコラボ事業。小・中学生が自然体験活動を通し、自分と向き合い、仲間との協力で行う様々な達成感を味わいました。子ども達の秘密を</p>	<p>【協議題】公民館活動の夢について 【日南町】「町内関連歴史史料を使った文化講座の取り組みについて」 【発表者】伊田 直起(社会教育室 主事) 【発表概要】日南町では昨年度より、町内の歴史資料を使ったワークショップを開催している。受講者の方に身近な資料を使い、町内の歴史に興味を持ってもらうのが狙いである。今年度は更なる発展を考えたい。</p>	<p>【協議題】事業に参画していただく新しい人材(ボランティア)の確保及び事業費の調達について 【岩美町】「わかいもんでどうやうやうたらでてるだろ」 【発表者】小谷 長生(生涯学習係 主任) 【発表概要】岩美町では、青少年育成として「アドベンチャーキャンプリ」(サンセットウォーク)「若者サロン」を展開しています。どうやうたわかいもんででてるようになるか、みんな考えてみたいと思います。</p>	
14:25 ～ 15:05	<p>【協議題】青少年の自然体験活動を推進するに当たった課題 【大山町】「感謝の心を！」 ～通学合宿を通して～ 【発表者】西川 援(中山公民館)遠藤博和(名和公民館)林原康浩(大山公民館) 【発表概要】大山町では心豊かになくまじい子どもの育成を図るため、町内各公民館が通学合宿事業を行っています。その事業の取り組みを紹介し、子どもたちの成長と事業の成果と課題を発表します。</p>	<p>【協議題】新規受講者の取り込みについて 【八頭町】八頭町体験合宿について ～夏にこぎだせ ジオパーク探検～ 日吉津村</p>	<p>【協議題】若年層を対象とする事業の展開方法について(参加するよう仕向ける工夫) 【智頭町】若年層を対象とする事業の展開方法について(参加するよう仕向ける工夫) 【発表者】若年層(生涯学習係 主任) 【発表概要】若年層を対象とする事業の展開方法について(参加するよう仕向ける工夫)</p>	
15:15 ～ 15:55	<p>【協議題】他市町村の通学合宿の形態や成果・課題について 【指示発表】 倉吉市 日野町 琴浦町 北栄町</p>	<p>【協議題】他市町村の通学合宿の形態や成果・課題について 【指示発表】 倉吉市 日野町 琴浦町 北栄町</p>	<p>【協議題】他市町村の通学合宿の形態や成果・課題について 【指示発表】 倉吉市 日野町 琴浦町 北栄町</p>	<p>【協議題】他市町村の通学合宿の形態や成果・課題について 【指示発表】 倉吉市 日野町 琴浦町 北栄町</p>

## 大 会 宣 言

私たち社会教育関係者は、鳥取県及び各市町村の社会教育のさらなる充実をめざし、本日、倉吉未来中心に集い、平成24年度鳥取県社会教育振興大会を開催した。

本年度は、「社会教育における家庭教育支援のあり方」について講演を聴き、それぞれの立場でどのような取組ができるのかを考えるきっかけとすることができた。また、昨年度に引き続き、県内全市町村がそれぞれの特色ある取組を発表または資料掲示し、意見を交わし交流する貴重な機会となった。

今夏明らかとなった大津市での「いじめ自殺事件」は私たちに大きな衝撃を与えた。学校教育のあり方が問われることは当然のこととして、生命の尊さを伝えることや子ども達の自尊感情・規範意識を育むことへの、家庭教育や社会教育の役割が果たせていたのか考えさせられる。学校・家庭・地域の連携が強く叫ばれる昨今、改めて今日的課題に対応した、青少年教育や家庭教育の推進に取り組まなければならない。私たちは、こうした社会情勢をふまえ、社会教育にかける熱い思いと研修・交流で得た成果を活かし、各地域、そして県全体の社会教育の一層の充実を図るために、次の事項を共通の認識とする。

- 一 将来の地域を支え、「鳥取県の宝」である子どもの健やかな育成に資するため、家庭教育に関する学習機会や情報の提供のみならず、教育行政が中心となって、学校や福祉行政、関係団体等と密接に連携しながら、相談・助言、交流の機会の提供など保護者支援の取組も積極的に進め、家庭の教育力の向上を図る。
- 一 ふるさと鳥取に愛着を持つ子どもの育成に、学校・家庭・地域社会が連携・協働して取り組み、地域の教育力の一層の向上を図りながら、生涯にわたって社会全体で取り組む学びの息づくまちづくりを進める。
- 一 地域住民や社会教育関係団体の願いを、社会教育行政に届けることが社会教育委員の役割であることを再認識し、社会教育の現状や課題の把握に努め、社会教育の推進に向けた施策の提案等委員活動を充実する。
- 一 人づくり・地域づくりを担う拠点である公民館及び類似施設の充実こそが、住民を元気にし、地域活性化の原動力となることを再認識し、生涯学習のあるまちづくりを展望しつつ、地域課題に対応した取組や地域の指導者・リーダーの育成に努める。
- 一 人と人との絆を育む社会教育に携わる者として、各地域そして県全体での研修や情報交換の場に積極的に参加し、社会教育関係者がつながり合いネットワークを広げていくよう努める。

以上、ここに宣言する。

平成24年10月24日

平成24年度鳥取県社会教育振興大会